



## 「学力向上プラン」策定など 各校での取組を!! No.9

学力向上に向けて様々な取組や研修を進めているところですが、教育委員会事務局で実施した研修内容について一部掲載しますので、指導の改善を学校全体で進めるとともに、さらに子ども一人一人に確かな学力を定着させていくために活用してください。

### 「学力向上セミナー」(教科等研修)

#### —「学力向上プランと総合学力プロフィールの活かし方」—

平成20年1月22日 実施

大阪教育大学 田中博之教授 講演概要より

#### 学力向上のためには、PDCAサイクル、言語力、学級力がキーワード

- ・ B問題(主として「活用」に関する問題)と相関が高い生活アンケートの項目として  
⇒「学校のきまり、規則を守っている」「友達との約束を守っている」
- ・ 集団でともに高めあう力〔集団で練り上げる、教える、誉め合う、推敲する力〕の育成が必要

#### 学力向上のために取り組んでいくための戦略として・・・

- ・ 「教科学力」から 「学びの基礎力」から 「社会的実践力」から 分析・改善
- ・ 活用する力を育成していくキーポイントはPISA型読解力
- ・ 全教科を通じたPISA型読解力の育成が重要  
(自分で主体的に考え、その結果を自分の言葉で文章にして表現する力の育成)
- ・ PISA型読解力は、社会参加を目的とした総合的な学力観であり、教科の学習で学んだ知識を活用し社会で働く言語力を育てることが大切
- ・ 総合的な学習の時間を用いたプロジェクト型学習の実施

#### 「言葉の力」の育成のために・・・

- ・ 全教科でディベート、意見交流等の学習活動の取り入れ
- ・ 話型、文型の指導など、論理立てて話をするために型の指導を重視
- ・ 調査、表現、交流する学習活動を通して、「聞く」「話す」「読む」「書く」の四言語活動の総合化を図ることが大切

#### 学級力向上のために・・・

- ・ 学級における教え合い学び合う仲間づくりの充実
- ・ 授業での学習規律遵守の指導の徹底
- ・ 家庭学習推進のための取組

平成19年12月26日開催「堺・教育フォーラム」での田中教授の講演内容を学校教育部ホームページに掲載しています。参考にしてください。

1月15日に実施した学力向上セミナー〔教科等研修・国語科〕における石原陽子専門指導員の研修内容要旨について掲載します。

## 学力向上セミナー 研修内容より

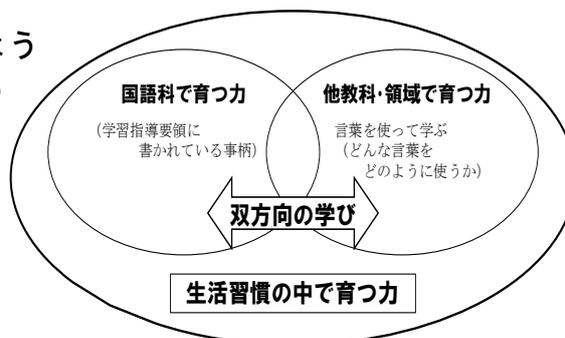
### 全国学力調査から ～ 読み解く力を高めるために ～〔要旨〕

#### ■ 全国学力調査から

- 大阪は無解答が多い ⇒ 『粘り強さに課題』
- 国語の学力と関連が高いもの
  - ・ 家庭での学習時間
  - ・ 読書に対する興味・関心
  - ・ 自然への関心（草花を育てるのが好き）
  - ・ 社会的関心（新聞やテレビのニュースへの関心）
  - ・ 算数（数学）的関心（数学の問題の解き方をいろいろ考える）
  - ・ 習った漢字を生活で使い、国語が社会で役に立つと考えている

#### ■ 国語力を向上させるために

- 学年全体で、具体的に関連を考えよう
- 生活で育つ力は、家庭に発信しよう



#### ■ 国語の授業で

- 絵や写真、図や表などを使って文章を読んでいるか？
- 授業の中で意見交流があるか？
- 授業の中で自分の考えを書いているか？
- 授業で資料を読み、自分の考えを書いたり話したりするか？
- 2つ以上の資料や文章を比べて読んだり、調べたりするか？

#### ■ 読み解く力を高めるために

##### 1. 国語科の指導を見直す

（自力で文章を読める、教師の問いで進める授業からの脱却を図る）

- ・ 教師の活動時間を減らす
- ・ 教師の話の聞いたり黒板を写したりしているだけでは力はない
- ・ 学習時間に自分の考えを話したり、書いたりする時間を増やす
- ・ 子どもの〔問い〕を大切に！

##### 2. 他教科との関連を図る(国語科だけでは読み解く力は育たない)

- ・ 理科の観察・実験の記録や報告、社会科の資料読み取りや資料作成
- 算数・数学の解き方や公式の説明、美術や音楽の鑑賞説明など

##### 3. 主体的な学びの中で力をつける

- ・ 報告文を書く、問題作りをする、話し合い活動をする